

マスタークラス募集要項

応募資格：13歳以上の音楽学生、演奏家。国籍不問。

指導内容：原則として12日間。各受講生は期間中5回の個人レッスン(1回約1時間)を受講。伴奏、通訳付き。受講生はどのクラスも聴講自由。

費用：入学金:15,000円

★リピーター割引あり

2年連続で受講される場合は入学金を5000円割引、前回受講時から5年以内*に再度受講される場合は入学金を3000円割引いたします。割引金額の合算はできません。
*2021年～2023年に受講された方を対象とします。

授業料:155,000円

特別講座(オーケストラスタディ・初見):15,000円(各回)

特別講座(室内楽):1名につき60,000円(全4回)

特別演習:コンサート1回につき60,000円(リハーサル2回、ゲネプロ1回を含む)

応募締切：2024年12月16日(月)必着

合格発表：2025年1月中旬～下旬 応募者全員にメールでお知らせします。

会場：関西日仏学館(京都) 他

練習場所：期間中、希望者に斡旋(要予約)

宿泊施設：希望者には合格後、予約申込書をお送りします。

受講申込：

お申込はこちらから

■下記のオンライン受講申込フォームに必要事項を記入し、送信してください。

<https://forms.gle/xmQF6Mk2THDhSKJR6>

※公式サイトでは受講申込書のダウンロードも可能です。受講申込書による応募を希望する場合は必要事項を記入の上、郵送またはメールで事務局宛にお送りください。

■審査用の資料は下記の方法で提出してください。

- 演奏動画(必須)：過去1年以内に収録した15分以内の演奏動画。曲目自由(ただし声楽クラス希望の場合、フランス語のアリアまたは歌曲1曲と、自由曲1曲)。Youtube等の動画投稿サイトに動画をアップロードし、共有URLを受講申込フォーム内に記入してください。動画が再生できることをご自身で必ず確認してください。動画は限定公開可。DVD等の物理メディアの提出は受け付けません。
- その他の資料(任意)：推薦状やプレス記事、コンサートチラシなど(A4サイズに収めること)。郵送またはメールで事務局宛にお送りください。

■申込時点で18歳未満の場合は、保護者の氏名、住所、捺印、同行の有無を明記した書面(書式は自由)の原本を事務局宛に郵送してください。

※提出された添付資料はお返ししません。

※室内楽のみの受講は、グループでの応募に限り可能です。グループの代表者が必要な資料を添えてお申し込みください。



イベントのご案内

公開レッスン

3月22日(土)、23日(日)

アカデミーの授業は非公開であるため、期間中に各教授1回60分の公開レッスンを全クラス行います。

会場：関西日仏学館(京都) 稲畑ホール

聴講料：2,000円(1科目1教授につき)

7,000円(1日通し券)

聴講券：2025年1月発売予定 ※受講生は入場無料



プロペラプロジェクト特別コラボレーション ジュニア向け弦楽合奏ワークショップ2025

3月25日(火)、26日(水)

ヴァイオリニスト森悠子が次世代の子どものために実施している「プロペラプロジェクト」とのコラボレーションとして、小学3年生～中学2年生を対象としたワークショップを開催します。応募方法等の詳細は決まり次第、公式サイトにてご案内します。

会場：関西日仏学館(京都) 稲畑ホール

受講料：15,000円(全2回)

聴講料：2,000円(各回)

講師：森悠子

70年渡仏、バイヤール室内管弦楽、フランス国立新放送管弦楽団、リヨン国立高等音楽院助教授等歴任。89年京都フランス音楽アカデミーを創案、開講、11年まで音楽監督を務める。97年長岡京室内アンサンブル設立。13年より年2、3回子ども音楽道場(プロペラプロジェクト)開催。



第34回 京都フランス音楽アカデミー アンサンブル・スペシャル・コンサート2025

3月29日(土) 14時開演

アカデミーに招聘された教授陣によるコンサート。

会場：京都府立府民ホール“アルティ”

入場料：4,000円(一般)

3,000円(学生/クラブ・フランス会員)

協力：エラート音楽事務所

Tel. 075-751-0617

チケット：2025年1月発売予定

※受講生は入場無料



受講生コンサート

3月30日(日)

各クラスから選ばれた優秀受講生のコンサートを開催します。

会場：京都市立京都堀川音楽高等学校 ホール

入場料：無料



お問合せ・お申込先

京都フランス音楽アカデミー実行委員会事務局

Tel. 075-761-2114 (日・月・祝休) | Fax. 075-761-2169 | Mail. academie@institutfrancais.jp

〒606-8301 京都市左京区吉田泉殿町8 関西日仏学館(京都)内

名誉会長：フィリップ・セトン(駐日フランス大使)

実行委員長：サンドリン・ムシェ(在京都フランス総領事、関西日仏学館館長)

アドバイザー：森悠子(長岡京室内アンサンブル音楽監督)

※このパンフレットの記載内容は予告なく変更される場合があります。最新情報は、公式サイト(academie.institutfrancais.jp)をご確認ください。

第34回

京都フランス 音楽アカデミー 受講生募集

ACADÉMIE DE MUSIQUE FRANÇAISE DE KYOTO

フランスの一流演奏家たちが京都に集結する、特別なマスタークラス！
現地さながらの環境で、本物のフランス音楽教育を体験してみませんか。

2025年3月18日(火)～3月30日(日)

※3月29日(土)は教授陣によるコンサートのため休講

応募締切 | 2024年12月16日(月) ※必着



主催：京都フランス音楽アカデミー実行委員会

後援：京都市、在日フランス大使館/アンスティチュ・フランセ、在京都フランス総領事館

助成：笹川日仏財団

協賛：稲畑産業株式会社、パウエル・フルート・ジャパン、株式会社 ビュッフェ・クラボン・ジャパン、株式会社 Liuteria-TAKADA、株式会社 旭堂楽器店

協力：京都女子大学、ANAクラウンプラザホテル京都、ヴィラ九条山

教育提携：パリ・エコール・ノルマル音楽院、パリ国立高等音楽院



マスタークラス 募集人数 | 各クラス12名

京都フランス音楽アカデミーは、ヴァイオリニスト森悠子氏と当時の関西日仏学館館長ミッシェル・ワッセルマン氏の主導により、1989年に発足した日仏音楽交流事業です。1990年3月に第1回京都フランス音楽アカデミーが開催されて以来、毎春、フランスよりトップクラスの音楽家が来日し、フランス政府公式機関である関西日仏学館内で約2週間のマスタークラスを開講。その規模、歴史、水準の高さから、フランス国外で行われる最も重要なフランス音楽教育の場となっています。

招聘教授プロフィール

声楽



マリー=テレーズ・ケレル
Marie-Thérèse Keller
パリ・エコール・ノルマル音楽院教授

メゾソプラノ。ストラスブル地方音楽院卒業後、ハンス・ホッターとドゥニーズ・デュプレクスに師事し、パリ・オペラ座等での公演に出演。ラヴェル「スペインの時」コンセプトオン、「カルメン」タイトルロール、「ヴェルテル」シャルロット、ナタリー・デセイと共演した「ランメルモールのルチア」アリーサや「ラクメ」マリカ、「美しきエレネー」、「ミニョン」、「カルメル会修道女の対話」マリー、「フィガロの結婚」ケルグルル」。アラン・ロンバル、マレク・ヤノフスキら著名指揮者との共演や、多数のリサイタル出演の他、ヴェルディ「レクイエム」、ロッシーニ「小莊厳ミサ曲」等のオラトリオやマーラー「大地の歌」にも出演。現在、パリ・エコール・ノルマル音楽院教授。ラン国立オペラでは「声楽家の身体訓練」とフランス語ディクションの指導も行う。

ピアノ



クレール・デゼール
Claire Désort
パリ国立高等音楽院教授

ラ・ロック・ダンテロン等の有名音楽祭に常連として出演する他、国際的な舞台上に多数出演。ソリストとしては、パリ管弦楽団等の主要オーケストラや、マレク・ヤノフスキらの指揮者と共演している。14歳でパリ国立高等音楽院に入学。ピアノをヴェンティスラフ・ヤンコフに、室内楽をジャン・ユボの下で学び、両科目で受賞を獲得。同音楽院修士課程では室内楽をロラン・ビドゥーに師事。エフゲニー・マリニーンに見出され、モスクワ音楽院にも留学した。実力派室内楽奏者として知られ、エマニュエル・シュロッセ、アンヌ・ガスティネルらと定期的に共演している。充実したディスコグラフィの中でも、シューマンのノヴェレッテを収録したアルバムがレベルトワールド誌で10点を得た他、97年にドボルザークとスクリャービンの協奏曲の録音でヴィクトワール・ドゥ・ラ・ミュージック賞受賞。シューマンを取めたCDではテレマ誌「fff」とクラシカ誌「Choc」受賞。現在、パリ国立高等音楽院教授。

ヴァイオリン



ステファニー=マリー・ドゥガン
Stéphanie-Marie Degand
パリ国立高等音楽院教授

17世紀から現代音楽までのレパートリーのテクニックをマスターしている今日では数少ない演奏家の1人。パリ国立高等音楽院でジャック・ゲステムらに師事。ソリスト、室内楽奏者、コンサートマスターや指揮者、指導者として活躍し、05年ヴィクトワール・ドゥ・ラ・ミュージック器楽ソリスト賞等を受賞。由緒あるホールの数々でエマニュエル・クリヴィヌ等の指揮者と共演する他、室内楽ではマリー=ジョゼフ・ジュード等と共演。00年、エマニュエル・アイムと古楽アンサンブル「ル・コンセル・ダストレ」を結成。16年、アンサンブル「ラ・ディアナ・フランセス」を設立し、芸術監督に就任。12年以来、パリ国立高等音楽院でモダン、バロックと歴史リカルの各ヴァイオリン科教授を務める。ディスコグラフィはこの稀有な多才ぶりを反映し、モンテヴェルディからタンギーまで網羅している。20年、バッハのソナタ全集でディアパン誌金賞とクラシカ誌「Choc」受賞。22年、コンセル・パドル管弦楽団を指揮し、パリでの指揮者デビューを果たした。

ヴィオラ



ピエール・レネール
Pierre Lenert
パリ・エコール・ノルマル音楽院教授

驚くべき自在さを備えた演奏が高く評価されており、ピアニスト広瀬悦子とのデュオによるCD「情熱」ではクララ・シューマン、ブラームス、ヨアヒムに至高のオマージュを捧げている。また、アンサンブル「レネール・ファンタジー・グループ」でオペラからシャンソンまで独創的なレパートリーに取り組む。65年のエマニュエル・ヴァルディ以降、ヴィオラでバガニニ「24のカプリス」の録音に挑戦したヨーロッパで唯一の演奏家。これまでにヴェリタタン「ヴィオラとピアノのための作品集」等のCDを発表。最初の師は父ジャン・レネールで、その後ユディ・メニューインと決定的な出会いを果たす。フィリップ・モリス財団や主要な国際コンクール(ライオネル・ターティス、マルクノイギルヘン、モリス・ヴェー)の受賞者でもある。パリ国立歌劇場管弦楽団ソロ首席ヴィオラ奏者。セレナード国際室内楽フェスティバルとル・グー・ドゥ・ラ・ミュージック・フェスティバルで芸術監督を務める。パリ・エコール・ノルマル音楽院教授。

ピアノ



オルタンス・カルティエ=ブレッソン
Hortense Cartier-Bresson
パリ国立高等音楽院教授

音楽シーンに不可欠な存在としてフランス内外で多数招聘されているピアニスト。フローニユ=ビヤンクール地方音楽院で長年ピアノと室内楽を指導した後、11年パリ国立高等音楽院教授に就任。自身は同音楽院卒業後、79年にゾルジ・シベックと出会い米インディアナ大学に留学した。81年リスト=バルトークコンクール第3位入賞(1位なし)。以来、国際的な舞台でのリサイタルへの出演や、ソリストとしてパリ管弦楽団(リッカルド・シャイー指揮)等、有名オーケストラとの共演を重ねる。録音では20年にリリースしたブラームスの作品が好評を得た。室内楽奏者として高く評価され、ロジェ・ミュラロ等との共演多数。室内楽フェスティバル「ミュージック・ア・ラ・プレ」の芸術監督である。客員教授を務めるベルリン芸術大学に定期的に招かれている他、ニース夏期国際音楽アカデミーやティエヌのMusicAlp国際音楽アカデミー等、各地で指導を行う。主要な国際コンクールの審査員も務めている。

ピアノ



パスカール・ロジェ
Pascal Rogé
パリ・エコール・ノルマル音楽院教授

フランス・ピアノイズムを代表する名手として活躍する演奏家。パリに生まれ、パリ国立高等音楽院で学ぶと共に、ジュリアス・カッチェンや、かの偉大なナディア・ブーランジュにも薫陶を受けた。ジョルジュ・エネスク国際コンクール入賞および、ロン・ティボー国際コンクール第1位を受賞後、17歳でデッカ・レコードの専属アーティストとなる。ブーランジュやサティ、フォーレ、サン=サーンス、そして特にラヴェルとドビュッシーの作品の演奏において、その優雅さと美しさ、精緻なフレージングが際立っている。これまでに世界中の主要なコンサートホールで公演を行っており、あらゆる有名オーケストラや、最も名高い指揮者達との共演を重ねている。若い世代の新進アーティストにも関心を寄せており、ロンドンのトリニティ・ラパン音楽院や英国王立音楽院にて客員教授を務める。また、パリ・エコール・ノルマル音楽院では教授として後進の指導にあたっている。

ヴァイオリン



レジス・パスキエ
Régis Pasquier
パリ・エコール・ノルマル音楽院教授

幼少時より音楽に触れた早熟の才能は、12歳にしてパリ国立高等音楽院でヴァイオリンと室内楽の1等賞を受賞。14歳で渡米し、アイザック・スターン、ダヴィッド・オイストラフ、ピエール・フルニエ、ナディア・ブーランジュと出会う。数年後、ジノ・フランチェスカッティがその才能に惚れ込み、共にバッハの「2つのヴァイオリンのための協奏曲」を録音。各国の有名オーケストラにソリストとして招かれ、ロリン・マゼール、ジョルジュ・ブレートルら名指揮者と共演し、不動の評価を得る。室内楽では、アイザック・スターン、ムスティスラフ・ロストロポヴィチらと共演。91年ヴィクトワール・ドゥ・ラ・ミュージック年間優秀ソリスト賞および、ヌーヴェル・アカデミー・デュ・ディスク特別受賞。若手育成にも力を注ぎ、85年~11年、パリ国立高等音楽院教授。現在、パリ・エコール・ノルマル音楽院教授。ステファン・グラッペリの招きで複数のジャズコンサートに出演するなど、ジャズ愛好家でもある。

チェロ



アンヌ・ガスティネル
Anne Gastinel
リヨン国立高等音楽院教授

71年生まれ。4歳でチェロを始め、10歳でオーケストラとの共演がテレビで放送された。11歳でリヨン国立高等音楽院に入学すると、4年後に一等賞を獲得し、パリ国立高等音楽院第3課程に入学。ヨーヨー・マ、ヤノシュ・シュタルケル、ポール・トルトゥリエのもとでも研鑽を積み、人間的・音楽的に成長を果たす。多数の国際コンクールでの入賞を経て、17歳で国際的なキャリアを開始し、名高いホールで称賛を受ける。以来、アメリカからアジア、アフリカ、ヨーロッパまで世界中を巡り、有名オーケストラに招聘されている。ザンデルリング、クリヴィヌら著名な指揮者や、室内楽奏者の仲間たちと共に、現代音楽の初演や主要なレパートリーの演奏に取り組み、多様な聴衆の期待に応えている。使用楽器は1690年製テストレー。19歳からリリースしている録音では、3度のヴィクトワール・ドゥ・ラ・ミュージック賞やffff賞等を受賞し、高い評価を受けている。03年よりリヨン国立高等音楽院教授。

1990年の第1回開催以来、これまでに延べ3700人以上の優秀な若手演奏家が京都フランス音楽アカデミーを受講しました。

5回のレッスンで自分の課題を明確に理解し、練習の質が上がることで、成長を自分自身でも感じられる充実した時間になりました。

世界で活躍されている先生方から情熱的な指導を受け、美しい音楽を目の前で感じる事ができて幸せな2週間でした!

先生はもちろん、周りの受講生が本当に積極的で、その環境にとっても刺激を受けました。他の楽器のクラスも聴講しましたが、全ての先生方の精力的なレッスンに圧倒され心から感銘を受けました。

受講生の声(第33回アンケートより抜粋)

クラリネット



フロラン・エオー
Florent Héau
パリ地方音楽院教授

優れたフランス流派クラリネット奏者の1人として、輝かしい伝統を世界中に伝えるべく演奏活動および教育活動を行っている。パリ国立高等音楽院でミシェル・アリニョンのもとで学び、数々の国際的なコンクールで第1位を獲得。室内楽にはとりわけ精力的に取り組み、ルノー・カピュソン、ジェラルム・コセ、アンリ・ドゥマルケット、アンヌ・ガスティネル、ミシェル・ペロプラらと共演するほか、ソリストとしては、ヨーロッパ・カメラータ、パリ室内管弦楽団、ブルターニュ管弦楽団、ポーランド放送室内楽団、ブラハ室内管弦楽団等と共演。また、ティエリ・エスケシュやフィリップ・エルサンら現代音楽の作品も初演している。パリ国立高等音楽院でミシェル・アリニョンのアシスタント教授を務めた後、リュエイユ=マルメゾン地方音楽院教授を経て、現在パリ地方音楽院およびローザンヌ高等音楽院教授として後進の指導を行う。ヨーロッパ各国やラテンアメリカ、アジアのマスタークラスにも定期的に招聘されている。

フルート



ジャン・フェランディス
Jean Ferrandis
パリ・エコール・ノルマル音楽院教授

モーツァルトのフルート協奏曲K314を演奏した際、アダージョを聞いたバーンスタインに「彼はまさにパン(牧神)である!」と言わしめるほど称賛を得たフルーティスト。リヨン国立高等音楽院を卒業後、ブラハの春国際音楽コンクールで優勝。以後、カーネギーホールやジャンゼリゼ劇場など、各国の有名ホールでリサイタルや室内楽の公演を行う他、ソリストとしてオーケストラと共演。多くの音楽祭にも招かれ、ジャン=フィリップ・コラール、アンリ・ドゥマルケット、イヴリー・ギトリス、ジャン=マルク・ルイサダらと共演している。録音ではあらゆるフルートのレパートリーを取り上げ、22年にはモーツァルトのフルート四重奏曲全集を発表。世界初演となったアレクサンドル・デスプラの「ベレアスとメリザンド」等、現代の作曲家の作品を演奏することも多い。現在、パリ・エコール・ノルマル音楽院とカリフォルニア州立大学フラトン校で教鞭をとる。ヨーロッパ、日本、韓国、アメリカでは定期的にマスタークラスでの指導も行う。

声楽・ピアノ・弦楽器・管楽器クラス

レッスンはすべてマンツーマンで行われます。課題曲は設けず、各受講生の希望する曲を指導。各受講生は、期間中5回の個人レッスン(1回約1時間)を受講します。個人レッスン以外の時間帯には、他の受講生のレッスンや、他の科目のレッスンも自由に聴講していただけます。日本にいながらにして、まるでフランスの音楽院で学んでいるかのような環境を体験できる。またとない機会です。都合の悪い日に個人レッスンが当たらないよう、ある程度の調整は可能ですが、期間中はなるべく毎日出席することをおすすめします。

※特別聴講制度 受講生以外の方にもアカデミーのレッスンをご覧いただけるよう、特別聴講制度を設けます。聴講料:7,000円(1日)。未就学児不可。詳細はアカデミー事務局までお問い合わせください。

特別講座 / 特別演習

パリ国立高等音楽院のディアナ・リゲティ教授を迎え、フランスの音楽教育ならではの特長を生かした3つの特別講座や、リハーサル〜本番までの流れを体験できる特別演習を開講します。

■ **オーケストラスタディ**:オーケストラのオーディション対策に特化したレッスンを開講。弦楽器クラスのアカデミー受講生対象。各日1回90分。楽器ごとに日程が異なります。ヴァイオリンは2日間の受講も可。

3月21日(金)、3月28日(金): ヴァイオリン
3月22日(土): ヴィオラ
3月23日(日): チェロ

■ **初見**:フランスの音楽教育において特に重視されている「初見」を実践的に学ぶ講座。フランスへの音楽留学を考えている方には特に受講をおすすめします。ピアノ・弦楽器クラスのアカデミー受講生対象。各日1回90分。1人何回でも受講可。

3月21日(金)~3月25日(火)、
3月28日(金)
※3月23日(日)は公開レッスンとして開催

■ **室内楽**:ピアノ・弦楽器クラスのアカデミー受講生を対象に、デュオ、トリオ、カルテットのメンバーを事前に募集します。グループでの応募も可。各日1回1時間。アカデミー期間中にグループごとに全4回のレッスンを行います。

コンサート開催日:
3月20日(木)、3月21日(金)、
3月27日(木)、3月28日(金)

※特別講座/特別演習は原則としてアカデミーのマスタークラス各科目の受講生を対象としますが、特別講座/特別演習のみの受講を希望される場合、事前に音源審査を受けていただきます。詳細はお問い合わせください。また、室内楽/特別演習のみの受講は、グループでの応募に限り可能です。個人での応募はできません。※アカデミー受講生がグループで室内楽/特別演習に応募する場合、受講生以外の方がメンバーとして参加することも可能です。ただし、その場合も各参加者には受講費用(入学金・授業料)をお支払いいただきます。※受講希望者数が一定の人数に満たない場合、開講を中止することがあります。 ※日程や回数、内容が一部変更される場合があります。

